

環境経営レポート

2023年度

対象期間 2023年1月～12月



発行日 2024年3月31日

株式会社水野文化園

目次

1. 環境経営方針	P1
2. 組織の概要と認証・登録の対象範囲	P2
3. 実施体制	P3
4. 環境経営目標	P4
5. 環境経営計画	P5
6. 環境経営システムとSDGsとの関連性の概要	P6
7. 環境経営目標の実績	P7
8. 環境経営活動の取組結果と評価及び次年度の環境経営計画（取組）	P8
9. 環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無	P9
10. 社内外における環境活動への取組	P9
11. 環境に配慮したプロジェクト	P10
12. 代表者による全体評価と今後に向けた取組	P11

1. 環境経営方針

■基本理念

私たちは、持続可能な社会の実現に向けて、事業活動に伴う環境負荷を継続的に改善していくとともに、生態系との共生に資する緑豊かな空間の創造に積極的に取り組んでいきます。

■行動指針

1. 具体的には、以下のことに取り組んでいきます。

- ①二酸化炭素排出量の削減
- ②廃棄物排出量の抑制とリサイクルの推進
- ③水使用量の削減
- ④農薬などの化学物質使用量の把握
- ⑤環境に配慮した設計施工技術の推進
- ⑥生物多様性への配慮

2. 環境関連法規や当社がお約束したことを遵守します。

制定日 平成27年12月 1日

改定日 令和 2年 6月 1日

株式会社水野文化園
代表取締役 水野 貞明

2. 組織の概要と認証・登録の対象範囲

1 組織の概要

1) 事業者名及び代表者名

株式会社水野文化園
代表取締役 水野 貞明

2) 所在地

〒800 - 0112 福岡県北九州市門司区大字畑46番地

3) 環境管理責任者及び連絡先

専務取締役 水野 晴之
TEL 093 - 481 - 4600 FAX 093 - 481 - 4680

4) 事業内容

福岡県知事許可 特 - 27 第66562号
造園工事業、土木工事業、建築工事業、大工工事業、左官工事業、とび・土工工事業、
石工事業、屋根工事業、鋼構造物工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、
鉄筋工事業、ほ装工事業、板金工事業、ガラス工事業、塗装工事業、防水工事業、
内装仕上工事業、熱絶縁工事業、建具工事業

5) 事業規模

資本金 30,000,000円
売上高 2.0億円(2023年度)
従業員数 12人

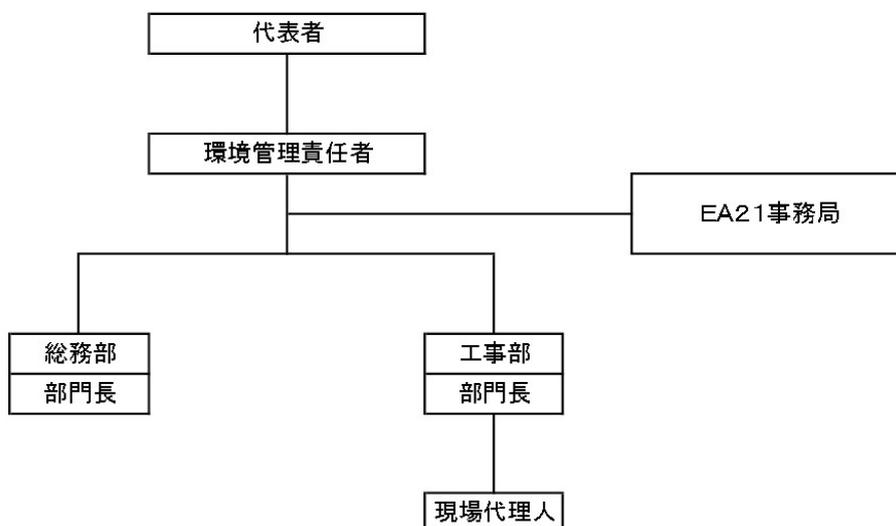
6) 事業年度 1月～12月

2 認証・登録の対象範囲

1) 対象事業所 本社

2) 事業活動 造園工事業、土木工事業

3. 実施体制



役割分担表

所属	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ。 環境経営方針を作成・見直しして従業員に周知する。 環境管理責任者、EA21事務局員を任命する。 環境への取組に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備する。 環境経営目標・環境経営計画を承認する。 EA21全体の取組状況に関し、評価・見直しを実施する。 環境経営レポートを承認する。 コロナ感染対策と環境経営活動との調整についての最終判断を行う。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> EA21ガイドラインに沿って環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる。 環境関連法規等の取りまとめ表を承認する。 毎年、環境経営目標・環境経営計画を作成する。 3ヶ月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況を確認・評価する。 コロナ感染対策と環境経営活動との調整を行う。 上記の結果を代表者に報告する。 EA21と関連させつつSDGsへの取組も推進する。
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐して、EA21文書・記録類・データの作成・集計・管理を行う。 社外からの環境情報の収集と伝達を行う。 環境経営レポートの作成、公開を行う。
部門長 現場代理人	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画を部門全員に周知する。 環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境経営活動を推進する。 自部門で発生した問題点の是正措置・予防措置を実施する。 自部門に関連する法規制等を順守する。 自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する。 自部門の教育・訓練を実施する。 協力会社従業員に対し弊社環境経営方針を説明し、理解・協力を求める。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚する。 PDCAサイクルを実践しながら、自主的・積極的に環境経営活動へ参加する。

4. 環境経営目標

■削減目標は、2015年度を基準年として毎年0.5%削減を目指している。

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年	目標		
			2015年度	2022年度 (3.5%削減)	2023年度 (4%削減)	2024年度 (4.5%削減)
			1月~12月	1月~12月	1月~12月	1月~12月
1 二酸化炭素総排出量の削減	全社	kg-CO2	42747	41251	41037	40823
①電気使用量の削減	事務所	kWh	23645	22817	22699	22581
②ガソリン使用量の削減	事務所	L	2126	2052	2041	2030
③ガソリン使用量の削減	現場	L	4778	4611	4588	4564
④軽油使用量の削減	現場	L	6933	6691	6656	6621
2 ①一般廃棄物排出量の削減	事務所	t	0.74	0.71	0.71	0.71
②産業廃棄物の再資源化率の向上	現場	%	84.5	85.0	85.0	85.0
3 水使用の削減	全社	m3	194	187	186	185
4 化学物質使用量の把握と適正管理	現場	—	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
5 グリーン購入の推進	事務所	品数	33/130	購入品数の36%以上	購入品数の37%以上	購入品数の38%以上
6 省資源・省エネ型設計・施工の提案	現場	件数	2	3	3	3
7 生物多様性への配慮の推進	現場	件数	—	適正配慮	適正配慮	適正配慮
8 地域コミュニティ活動への貢献	全社	件数	—	—	3	3

※購入電力のCO2排出係数について、2018年度調整後排出係数0.347 [kg-CO2/kWh]を採用。

※環境経営目標7は2017年度より、環境経営目標8は2023年度より新しく追加した。

5. 環境経営計画

環境経営目標		サイト区分	達成手段	
1 二酸化炭素総排出量の削減	①電気使用量の削減	事務所	1	使用していない部屋の消灯・空調停止。
			2	空調の設定温度の適宜調節。
	②ガソリン使用量の削減	事務所	1	目的地までの効率的な走行ルートを選定。
			2	公共交通機関の利用促進。※1
③ガソリン使用量の削減	現場	1	現場移動時の最短移動ルートを選定。	
		2	各作業ごとの工事車両台数の最適化。※2	
④軽油使用量の削減	現場	1	アイドリングストップの励行。	
		2	急発進・急停止・急旋回・過負荷の禁止。	
2	①一般廃棄物排出量の削減	事務所	1	必要部数に限定した印刷物の作成。
			2	社内LAN、データベース等を利用した電子化。
②産業廃棄物の再資源化率の向上	現場	1	混合廃棄物の現場における分別処理の徹底。	
		2	資材梱包の簡素化による発生材削減。	
3	水使用料の削減	事務所	1	手洗い・洗い物の際の節水の励行。※3
			2	配管からの漏水の有無の定期的な点検実施。
4	化学物質使用量の把握と適正管理	現場	1	SDSを用いた安全性確保のための情報管理。
			2	有害性化学物質の使用量・保管量の把握。
5	グリーン購入の推進	事務所	1	グリーン購入法適合商品の優先的購入。
			2	再生材料から作られた製品の優先的購入。
6	省資源・省エネ型設計・施工の提案	現場	1	再生資源の積極的な利用。
			2	施工の合理化による省資源化・省エネ化推進。
7	生物多様性への配慮の推進	現場	1	生物多様性に配慮した農薬の選定・使用。
			2	生物多様性に配慮した緑地管理の推進。
8	地域コミュニティ活動への貢献	全社	1	地域コミュニティ活動拠点の環境整備。
			2	地域ボランティア活動への参加。

注：※1、※2、※3については新型コロナウイルス感染予防のため2020年3月以降一時中止していたが、感染症法上の位置づけ変更（5類感染症への移行）に伴い2023年度より※2のみ再開した。

6. 環境経営システムとSDGsとの関連性の概要

※弊社は2022年2月1日より「北九州SDGs登録事業者」として登録を受けている。

環境経営目標		サイト区分	関連する主なSDGsのゴール		
1 二酸化炭素総排出量の削減	①電気使用量の削減	事務所			
	②ガソリン使用量の削減	事務所			
	③ガソリン使用量の削減	現場			
	④軽油使用量の削減	現場			
2	①一般廃棄物排出量の削減	事務所			
	②産業廃棄物の再資源化率の向上	現場			
3	水使用量の削減	事務所			
4	化学物質使用量の把握と適正管理	現場			
5	グリーン購入の推進	事務所			
6	省資源・省エネ型設計・施工の提案	現場			
7	生物多様性への配慮の推進	現場			
8	地域コミュニティ活動への貢献	全社			

7. 環境経営目標の実績

環境経営目標	サイト区分	単位	2015年度	2023年度		達成率 (%)注
			基準年	目標	実績	
二酸化炭素総排出量の削減	全社	kg-CO2	42747	41037	31835	129%
1 ①電気使用量の削減	事務所	kWh	23645	22699	17580	129%
②ガソリン使用量の削減	事務所	L	2126	2041	1514	135%
③ガソリン使用量の削減	現場	L	4778	4588	3811	120%
④軽油使用量の削減	現場	L	6933	6656	4950	134%
2 ①一般廃棄物排出量の削減	事務所	t	0.74	0.71	0.61	116%
②産業廃棄物の再資源化率の向上	現場	%	84.5%	85.0%	100%	118%
3 水使用量の削減	全社	m3	194	186	161	116%
4 化学物質使用量の把握と適正管理	現場	—	適正管理	適正管理	適正管理	達成
5 グリーン購入の推進	事務所	品数	33/130 (25%)	購入品数の 37%以上	61/154 (40%)	108%
6 省資源・省エネ型設計・施工の推進	現場	件数	2	3	3	100%
7 生物多様性への配慮の推進	現場	—	—	適正配慮	適正配慮	達成
8 地域コミュニティ活動への貢献	全社	件数	—	3	3	100%

注：達成率＝目標／実績（実績が小さい方がよい場合）。

ただし2②、5、6については、達成率＝実績／目標（実績が大きい方がよい場合）とする。

8. 環境経営活動の取組結果と評価及び次年度の環境経営計画（取組）

※次年度の環境経営目標は、「3. 環境経営目標」のとおりとする。

環境経営目標	サイト区分	結果	評価及び次年度の環境経営計画（取組）
二酸化炭素総排出量の削減	全社	○	<ul style="list-style-type: none"> 目標を達成できたことは、評価できる。 次年度も、若年社員や協力会社を含めた全社的な環境活動の推進を継続していく。
①電力使用量の削減	事務所	○	<ul style="list-style-type: none"> 消灯の習慣化による節電効果が現れてきている。 次年度は、より省エネ性能が高い備品への更新についても検討していく。
②ガソリン使用量の削減	事務所	○	<ul style="list-style-type: none"> 目標を達成できたことは評価できる。 公共交通機関利用促進はコロナ収束後に再開する。
③ガソリン使用量の削減	現場	○	<ul style="list-style-type: none"> 目標を達成できたことは評価できる。 再開した工事車両台数の最適化を継続する。
④軽油使用量の削減	現場	○	<ul style="list-style-type: none"> 目標を達成できたことは評価できる。 再開した工事車両台数の最適化を継続する。
①一般廃棄物排出量の削減	事務所	○	<ul style="list-style-type: none"> 目標を達成できており評価できる。 文書の電子化によるペーパーレス化への意識が浸透しつつあり、今後も継続的に取組んでいく。
②産業廃棄物の再資源化率の向上	現場	○	<ul style="list-style-type: none"> 再資源化率は100%に達しており評価できる。 今後も分別徹底による再資源化に取組んでいく。
3 水使用量の削減	全社	○	<ul style="list-style-type: none"> 節水より感染症対策（手洗いの励行等）を優先した。 コロナ収束後から従前の節水励行を再開する。
4 化学物質使用量の把握と適正管理	現場	○	<ul style="list-style-type: none"> 社員の農業に対する管理意識も高まってきている。 次年度も引き続き管理体制を維持していく。
5 グリーン購入の推進	事務所	○	<ul style="list-style-type: none"> 目標を上まわって達成しており評価できる。 今後も引き続き対象商品の優先調達に取組んでいく。
6 省資源・省エネ型設計・施工の推進	現場	○	<ul style="list-style-type: none"> 施工の合理化への意識が浸透してきている。 次年度も発注者への技術提案につなげていく。
7 生物多様性への配慮の推進	現場	○	<ul style="list-style-type: none"> 動物や周辺の農作物に配慮した植物管理を行うなど、生物多様性に対する配慮も浸透してきている。 継続して顧客へのアピールにつなげていきたい。
8 地域コミュニティ活動への貢献	全社	○	<ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティ拠点である寺社の環境整備や地域の公園環境整備のボランティアに参加した。 継続して顧客へのアピールにつなげていきたい。

○：結果が得られている。 △：結果が不十分。 ×：結果が得られていない。

9. 環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無

- 弊社に適用される環境関連法規について確認した結果、違反はありませんでした。
また、関係機関及び市民からの違反の指摘や訴訟等もありませんでした。

主な環境関連法規等	遵守状況
廃棄物処理法	○
建設リサイクル法	○
オフロード法	○
フロン排出抑制法	○
騒音規制法	○
振動規制法	○
道路交通法	○
道路法	○

10. 社内外における環境活動への取組

- 一般社団法人北九州緑化協会が主催するボランティア活動「到津の森公園園内緑地保全整備支援活動」（2023年2月21日開催）に参加しました。

北九州市民の憩いの場でもある「到津の森公園」において、剪定・枯枝撤去・草刈等の環境整備活動に貢献しました。



11. 環境に配慮したプロジェクト（1） - 響灘緑地樹林広場整備工事 -

■北九州市立響灘緑地グリーンパーク（福岡県北九州市若松区）において、新たな施設「太陽の丘」エリアがオープンしました。弊社はロングスライダー（滑走長約38m、高低差約12m。）を含む南側エリアの工事を担当させていただきました。

この「太陽の丘」エリアは、「世界最長のブランコ」（ギネス世界記録認定。弊社施工。）をはじめとする子供の遊び場エリア全体を一望できる丘の上に位置しています。エリア内には、ロングスライダーの他に太陽をイメージした滑り台や草ソリ場などが設置され、とても魅力あふれる空間となっています。丘の上から竹林の中へと滑り降りていく体験を通じて、子供たちの環境への親しみが一層高まっていくことが期待されます。



11. 環境に配慮したプロジェクト（2） - 曽根豊岡緑地施設整備工事 -

■曽根臨海公園（福岡県北九州市小倉南区）の野鳥観察デッキ（2020年3月竣工。）が2023年春に無事オープンしました。曽根干潟には希少種に指定されている鳥類や魚類などが生息しており、このデッキが公園利用者の皆様の自然観察や環境学習の場として有効に機能していくことを期待しています。



12. 代表者による全体評価と今後に向けた取組

■全体評価

弊社がエコアクション21への取組をスタートさせてから2023年度で8年目に入りました。社員の環境意識向上や関係者の皆様方のご協力もあって、PDCAサイクルによる環境負荷の継続的改善が実践され、2023年度も無事に環境経営目標を達成することができました。

ここ数年、弊社の事業活動に大きな影響を及ぼしてきた新型コロナウイルスについても、2023年5月より「5類感染症」として位置づけられることとなり、感染対策の実施に関して事業者の判断が基本とされることになりました。この感染症法上の位置づけ変更に伴い、2020年より休止していた環境活動の一つである「工事車両台数の最適化」への取組を2023年度より再開することにしました。

また、新たな環境経営目標として「地域コミュニティ活動への貢献」を追加しました。弊社はこれまでもさまざまな地域コミュニティ活動に取り組んできましたが、環境経営目標の一つとして明確に位置づけることで、社員の意識向上やステークホルダーの皆さまへのアピールにつなげていきたいと思っております。

■今後に向けた取組

2022年2月1日、弊社が北九州市から「北九州SDGs登録事業者」として認定を受けたことにあわせて、弊社の環境経営システムとSDGsの各ゴールとの関連性の概要について、環境経営レポートに掲載することにしました。今後は、これまで取り組んできたエコアクション21の環境経営活動を継続・拡大させながらSDGsの達成に寄与できる企業を目指していきたいと考えております。

また、感染対策の一環として2020年より休止している「公共交通機関の利用促進」、「節水の励行」などの一部の環境活動についても、これから随時再開していく予定です。具体的な再開時期については、政府・自治体などより発信される情報をふまえながら慎重に検討していきたいと考えています。

2024年3月31日
株式会社水野文化園
代表取締役 水野 貞明